

マクロの基礎知識 1

VBAの基礎知識 2

プログラミングの基礎知識 3

セルの操作 4

ワークシートの操作 5

Excelファイルの操作 6

高度なファイルの操作 7

ウィンドウの操作 8

リストのデータ操作 9

印刷 10

図形の操作 11

グラフの操作 12

コントロールの使用 13

外部アプリケーションの操作 14

VBA関数 15

そのほかの操作 16

付録

```

1 Sub 文字列検索()
2   Dim myString As String
3   myString = "KD-ABC-0012"
4   MsgBox "商品コード:" & myString & vbCrLf & _
        "左側部分:" & Left(myString, _
            InStr(myString, "-") - 1) & vbCrLf & _
        "右側部分:" & Right(myString, _
            Len(myString) - InStrRev(myString, "-"))
5 End Sub

```

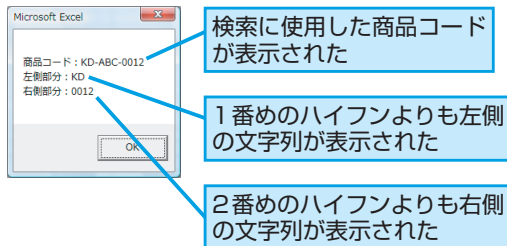
注) 「_」(行継続文字)の部分は、次の行と続けて入力することもできます→103ページ参照

1 [文字列検索] というマクロを記述する
2 文字列型の変数myStringを宣言する
3 変数myStringに「KD-ABC-0012」という文字列を格納する
4 「商品コード:」という文字列と変数myString、「左側部分:」という文字列と変数myStringの先頭から最初に見つかった「- (ハイフン)」の位置より1文字前までを左側から取り出した文字列、「右側部分:」という文字列と変数myStringの末尾から最初に見つかった「- (ハイフン)」の位置を総文字数から引いた文字数分を右側から取り出した文字列を、改行文字で改行してメッセージで表示する
5 マクロの記述を終了する

1 番めのハイフンより前にある文字列と、2番めのハイフンよりうしろにある文字列を取り出して表示したい

1 VBEを起動し、コードを入力 [参照](#) VBAを使用してマクロを作成するには……P.93

2 入力したマクロを実行 [参照](#) マクロを実行するには……P.54



💡 ファイルパスからファイル名を取得する

ファイルパスからファイル名を取得するには、ファイルパス内の一番あとの「¥」より右側の内容を取得します。このとき、InStrRev関数を使用して、ファイルパスの末尾から一番あとの「¥」を検索します。たとえば、ファイルパスが格納されている変数myPathStrからファイル名を取得してメッセージで表示するには、次のように記述します。

サンプル 15-2_016.xlsm

```

Sub ファイル名取得()
Dim myPathStr As String
myPathStr = "C:\データ\商品マスタ.txt"
MsgBox "ファイル名:" & Right(myPathStr, _
    Len(myPathStr) - InStrRev(myPathStr, "¥"))
End Sub

```

同様に、フォルダパスから指定されているフォルダ名を取り出すことも可能です。